

第32号 2020.7.30発行  
 発行者：株式会社協進印刷  
 編集者：JO編集委員会

# 子供たちが毎日夢中で遊べる 仕掛けを考えています。

学校法人横浜アイリス学園理事長 木元 茂さん



昭和56年同志社大学文学部社会学科を卒業後、株式会社オービックに入社し、コンピュータ営業に従事。平成7年白幡幼稚園に入社。平成29年には学校法人横浜アイリス学園理事長に就任し、白幡幼稚園園長を兼任している。業界団体や社会活動にも熱心で、公益財団法人横浜幼稚園協会会長を8年務めたほか、今年度から公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会副会長、神奈川県私立学校審議会委員に就任。また神奈川県ロータリークラブ会員として様々な奉仕活動にも尽力している。  
<http://iris.ed.jp/>

**江森**…木元さんは、横浜市幼稚園協会の会長を4期8年もの長きにわたり務められて、今年の5月に退任されたということですが、長い間お疲れ様でした。

**木元**…先輩方はだいたい2期4年という方が多いのですが、長くなったのにはわけがあって、2期目のときに「子ども・子育て支援新制度」ができて、ちょうど制度の変わり目だったので少し落ち着くまでということまで3期目までやって、じゃあもうそろそろと思うっていたときに、市長選で林市長が再選されたこともあって、市との連携や諸々を考えてもう1期となりました。でもそのタイミングで保育無償化の話が出てきたので、結果的には行政とのつながりや引き継ぎなどを考えると、これで良かったのかも知れませんね。

**江森**…しかも最後はコロナのおまけつきで(笑)

**木元**…そうそう、最後の総会なんかバタバタで。飲み会もできないし、思い出に浸る間もなくあつという間に終わりました(笑)。  
**江森**…任期中の8年の間には保育制度もずいぶん変わったんじゃないですか。

**木元**…そうですね。女性活躍の流れを受けて待機児童の問題があって、設置要件や職員の処遇改善の問題、そして保育無償化と、いろいろ変わりました。でも、この8年間で補助金が下がったこともないし、保護者の金銭的な負担が増えるようなこともなかったし、まずまずうまくいったのではないかと思います。

**江森**…素晴らしいご活躍でした。そもそも先生はどうしてこの業界に入られたのですか？

**木元**…この白幡幼稚園が妻の実家なんです。大学で社会福祉を専攻していたのですが、今から40年前ですから福祉系の仕事も、今

みたいに見えるほどなくて、結局一般企業に就職してコンピュータシステムの営業をやってたんですよ。妻とその会社の同期だったんです。結婚後しばらくして、白幡幼稚園を学校法人にするという話があって、他人がやるよりは身内が入った方がいいだろうということでも平成7年にこちらに来ました。

**江森**…学校法人にするのは何か理由があったのですか。

**木元**…平成5、6年頃だと思いますが、幸ヶ谷幼稚園の園長先生がご高齢で幼稚園を閉園するにあたって、仲の良かったお義母さんと話をしていた、譲ってほしいということになったらしいんです。それで神奈川県に相談したら、白幡幼稚園が学校法人になるなら良いでしょうと言われて、法人化することになったのです。

**江森**…幸ヶ谷幼稚園とはもともと別法人だった

たんですね。白幡幼稚園も歴史のある幼稚園ですね。

**木元**…そうですね。こちらはずっと定員いっぱい、むしろお断りしちゃってるぐらいですね。

**江森**…ここでは敷地も広げようがないですもんね。

**木元**…そうなんです。でも昨年隣に住んでいた叔母が亡くなって、遺言で土地を寄付してくれたんですよ。そこを畑や新しい遊び場にしようと思ってる準備中なんです。

**江森**…増築しないんですか。

**木元**…園児を増やすよりも、今いる子供たちにもっと多様な遊びを提供したいんですよ。夢中になって遊んだそのままの状態であらう帰って、明日も早く幼稚園に行つて遊びの続きをしたい！って思ってもらえるようにしたくて、いろいろ仕掛けを考えています。

**江森**：コロナでいろいろなことが中断してしまっただと思います。子供の遊びもそうですし、保護者の活動もそっただと思います。何か影響は出ていませんか。

**木元**：幼稚園の方は6月からなんとかスタートできましたが、保護者会の活動は全然できていませんね。3月から臨時休園したので卒業式も通常の形ではできず、一人ずつ来てもらって修了証書を渡しました。全部で4時間ぐらいかかってずっと立ちっぱなしだったんですけど、園児と保護者ひとりひとりと話すことができて、本来はこうあるべきなのかもしれないと思いました。1階に入園からの写真を博物館のように展示して、3年間の幼稚園生活を思い出しながら、2階が上がって修了証書を受け取るというスタイルは、それほど密にもならず良かつたなと思いました。

**江森**：幼稚園のあり方を見直すという意味では、良い効果もあったということでしょうか。

ね。  
**江森**：先ほど新制度の話がありました。幼稚園と保育園というのはこれからどうなっていくのでしょうか。

**木元**：少なくとも3歳〜5歳については無償化になったことによって、制度的には幼稚園も保育園も同じになりました。というのは、幼稚園の教育内容は文科省の幼稚園指導要領に沿っていて、保育園は厚労省の保育所保育指針に沿っているのですが、これらは予め省庁間ですり合わせをして発行しているの、内容はほぼ同じなんです。つまり幼稚園も保育園も、卒業するときに子供たちにこうあって欲しいという目指す姿、保育の質は同じということですよ。

**江森**：そうなんですか。となると、どうせ無償なんだったら預かってくれる時間が長い方が得だと判断する保護者が多くなりそうですね。

**木元**：幼稚園でも横浜型預かり保育を実施している幼稚園は最長11時間無償で、これは保育園も同じです。ただ預かり保育を実施していない幼稚園もあるの、そうなる時間長い方に行っちゃうのかなあ…。私たちが幼稚園としては、教育の質を評価して欲しいという思いもありますが、共働きの方も多いので、給食があるとか、夜までみてくれるとかそういうところが判断基準になるのも理解できます。

**江森**：結局は同じになっちゃうってことですかね。  
**木元**：そうだねえ…。違いといえば、お昼寝、給食、あと園庭かな。幼稚園は設置要件として園庭が必要なので。  
**江森**：保育園は園庭のないところも多いで

すからね。幼稚園も大学と同じようにフリースタイルビジネスになっていくのでしょうか。いかに設備が整っているかが問われるという。

**木元**：園児の安心・安全を考えると園庭があるというのは幼稚園の強みになるのでしょうかね。

**江森**：幼児教育への思いを聞かせていただけますか。

**木元**：いやあ、僕の場合幼稚園協会の会長としては制度を整えていく方に重点を置いて政治行政との交渉をやっている、役員の中でも役割分担をしていたので、偉そうなことをいうと叱られますが…。3年前から神奈川県で小規模保育をやっているのですが、やってみてつくづく思うのは、幼稚園には子供は3歳から入ってくるわけですが、その子に3歳以前の時期があったのはわかっているつもりなんですけど、基本的には3歳からしか見えていないんですよ。でも実際に0歳〜2歳の子を預かってみると、3歳に至るまでに、あんなこともある、こんなこともあるということを目の当たりにするわけです。それを知ってしまうと、3歳〜5歳だけしか見てなくて偉そうにしてるなんてなんたることかと反省しますね。だからもっと保護者にも寄り添わなきゃいけないし、もっと入園前のことを見ていかなければならないと改めて思いますし、そのなると認定こども園のような0歳〜5歳までを一貫してみることができる総合的な施設にしていくのが理想なんだろうとは思いますが。ただそうなる施設もそれなりに整備しなければなりません、すぐにというわけにはいきませんがね。

**江森**：未就園〜幼稚園〜小学校〜中学校といかにスムーズにつないでいくかということですよ。小学校の学習指導要領も今年から新しくなって、そういう意味では幼稚園がどういう状態で子供たちを送り出すべきかということも変わってきそうですね。

**木元**：ウチの幼稚園も以前は型にはまった教育というか、同じ学年で3クラスあるとしたら、クラス間で差があつては保護者に申し訳ないから、3クラス全部同じ進捗で保育が進まないといけないという考え方だったんです。でもそのやり方は子供からすると迷惑なことでも、もっとこれを突き詰めたという子がいたときに、それに応えられないというのは、ちょっといまの時代にはふさわしくないと思っています。江森さんがおっしゃるように、小学校の学習も変わってきていて、友達と話合っただけでん発想を伸ばそうよという授業をしているのに、白幡幼稚園の卒業生は時間が来たらハイ終わり、そこから先の思考が出てこないというようなことになったら、それこそ問題ですよ。

**江森**：アクティブラーニングということでいえば、企業も参加して職業教育のようなこともできるといいですね。タツミのえほんプロジェクトでは、建設業の仕事を幼稚園児に紹介することができましたが、もっといろいろな業種に展開できると、子供たちの職業選択の幅が広がると思いますね。

**木元**：神奈川県はおもしろい人がたくさんいるし、行政や各施設の連携もとれているので、幼稚園、大学、商店街、企業、ロータリークラブなどが一緒になって地域を盛り上げていけるといいですね。







3Rはご存知ですか？そう、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）です！身の回りには不要だけどそのまま捨てるのはもったいない、何かの代用にはならないかな？を元パタンナーMと元アパレル販売員Mの「WM（ダブルエム）」で、ちょっと役に立つ（…かもしれない）ものをご紹介しますという企画です。時にはまったく役に立たないものもあるかもしれませんが、そこはご愛嬌！ということで、どうぞ温かい目でお付き合いください。

## cocollabo（ココラボ）オリジナルマスク

いまは完全にニューノーマルになっているマスク着用。弊社でも従業員に支給しようと考えましたが、フターの不織布ではつまらない！おしゃれじゃない！そこで私たちWMは考えました。JO31号で紹介した協進印刷の新ブランド「cocollabo」のオリジナルマスクを作ること！

まず型紙はウェブから入手し、幅や縫い合わせ部分の高さをお直し。縫い合わせのカーブがきついととがり過ぎてしまうので、ここは慎重に調整。そして型紙にそって断裁してからロゴを刺繍します。（写真①）

次に縫製ですが、ここで技ありっ！仕上がり位置にテープ芯を貼り、ニット素材でもびろ〜んと伸びないようにしました。（写真②）中心と上下を縫い合わせ（写真③）、ひっくり返して仕上げ縫いをして完成（写真④）！

今回は、他人の古着で作ったマスクには抵抗がある人もいるだろうと、3Rに反し生地は購入してしまいましたが、ニット素材とブロード素材のすてきなマスクができました。それぞれにフィットするようにゴムも長めにしてあったり、細かいこだわりが詰まったマスクです。ロゴもかわいいし、宣伝効果もあるかも！？「うちの会社のマスクも作りたい！」という方はぜひご注文ください（笑）



①型紙にそって裁断して刺繍



②テープ芯で補強



③中心、上下の順に縫う



④ひっくり返してステッチを入れ完成

# 脱プラしませんか？ “海にやさしい”紙製クリアファイル販売開始

昨年12月に容器包装リサイクル法の一部が改正され、本年7月1日よりプラスチック製買物袋の過剰な使用を抑制することを目的として、レジ袋の有料化が全国一斉にスタートしました。

これを受け、大手コンビニ各社もレジ袋を一枚3円前後で有料提供することになりました。レジ袋が無の確認や客の袋詰め待ちなどで、レジ前が混雑する場面も見られますが、概ね皆さん協力的に取り組んでいくように感じられます。

ファストフードやファミリーストランドでもプラスチックはほぼ無くなりつつあ

りますし、子ども向けのおまけのおもちゃも、工作キットや図鑑など、紙製のものが増えつつあります。また、いらなくなったバックナンバーのおもちゃを店頭で回収し、トレーへと再生させるプロジェクトも実施されるなど、脱プラへの流れは着実に進んでいます。

どんなに小さい一歩でも、意識さえ変えれば生活の様式は変わりますし、生活様式が変われば、社会も環境もより良い方向へ向かうはずだと思えます。

当社でも、脱プラに貢献するべくさまざまなプラスチック代替品を考案しています

が、この度紙製のクリアファイルをリリースいたしました。オリジナルデザインの既製品と、オーダーメイドでの対応をご用意しています。

印刷の仕上がりと手触りが良い、程よい透け感で中身が見えすぎない、分別せずにリサイクルに出せるなど、嬉しい感想が届いております。リサイクルの推進、海洋ゴミの削減という観点から、SDGsの取り組みとしてもおすすすめです。

脱プラ社会への貢献活動として、紙製クリアファイルを使ってみませんか？詳しくは弊社営業までお問い合わせください。

## 紙ファイルでSDGs

既製品への  
名入れもできます！



包装紙等と同様にリサイクルできます



海洋プラスチック汚染防止に貢献します





# あなたの知らない ふおんとのほなし

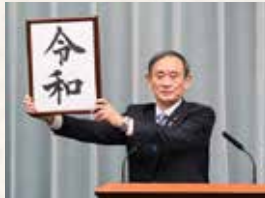
## 第二話 字体と字形

第一話では「書体」と「フォント」の違いについてお話しましたが、今回はこれまたまぎらわしい「字体」と「字形」です。

「字体」とは、例えば「言」は、へちよんの下に横棒三本、その下に横長の長方形」というような文字の形に関する概念のことです。それを形に表したのが「字形」です。意味不明ですね(笑)。例えば、「言」という字の一番上の「へちよん」を、斜め45度に書く人もいれば、垂直に書く人もいますが、これは「字形」の違い。どちらも「字体」は同じです。

「字体」の違いとして代表的なのは「旧字」。「総」と「總」は同じ文字(字種)でも字体が違います。一方「総」と「總」は字形が違うだけで字体は同じです。

私たちの日々の仕事では、コンピュータで出てこない文字をお客様から指定されて、オーダーメイドで作字することがしばしばあります。「高橋さん」や「柳さん」は最近のフォントには収録されているので問題ないのですが、近頃多いのが鈴木さんの「鈴」の字のつくりが「令」であるとか「令」



であるとかいう主張です。これは新元号発表の記者会見で菅官房長官が掲げた令和の「令」の字の影響ではないかと想像しますが、これまでは明朝体やゴシック体など、いわゆる活字体では「令」、楷書体などの筆記体では「令」という字形になるのが慣例だったので、楷書体で「令」や、明朝体で「令」という字形の文字はコンピュータフォントには収録されていないのです。

現在、アドビシステムズ社の規格で最も収録数の多い「P r 6」は2万3058字。ひと昔前は8千字程度だったので、これでもずいぶん楽になりましたが、戸籍上日本人の氏に使える文字は5万5271字。印刷会社が作字作業から解放される日はまだまだ遠そうです。

## 第27回横浜環境活動賞大賞受賞

この度、横浜市が主催する「第27回横浜環境活動賞」の企業の中で大賞をいただきました。横浜環境活動賞は、市民の環境活動を評価し公表することで、環境保全やリサイクルに対する関心を高めるとともに、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的として1993年に創設された賞です。

受賞にあたっては、損紙や、資材の保護紙の積極的なリユースなどの直接的な活動に加えて、地域での環境啓発セミナー開催などの地域連携、全従業員が環境に対して理解と意識を持って取り組める仕組みが構築されていることなどのソフトの部分も評価していただきました。

新型コロナウイルスの影響で、5月に予定されていた表彰式は中止。表彰状もいまだ手元に届いておらず、なかなか実感がわきませんが、これからも大賞企業として恥ずかしくないよう、従業員一同努力していきたくと思います。



横浜市記者発表資料→

## 子どもたちの「STAY HOME」に

新型コロナウイルス感染予防のため自粛生活が続く中、きつと子どもたちも時間を持て余しているだろうと、ゴールデンウィーク直前の1日限定で、子どもたちが手を動かせるグッズの無料配布企画を敢行。

「オリジナルお絵かきカレンダー」「ありがとう迷路」「ぬり絵(11種)」「色紙いろいろ」の大盤振る舞いをしました。開始時間前に待っていてくれた兄弟、朝からもらいに行くのを楽しみにしていたといってくれた



子どもたちの「STAY HOME」に。

1日だけの無料配布！

おうちでじとげガマンしている子どもたちへ、協進印刷からのプレゼント。おどろおどろしい、いろいろなぼうし！

5月1日(金) 13:30~15:30

協進印刷前にて(配布予定)

- オリジナルお絵かきカレンダー
- ありがとう迷路
- ぬり絵
- 色紙いろいろ

早く来場終了！お買い得なわけの上お楽しみください。

## オンラインセミナー開催中！

CSRの普及を目的に定期的に自主開催してきた「CSR初級実践セミナー」ですが、新型コロナウイルス感染予防対策を余儀なくされる中、5月からオンライン開催に挑戦しています。

初めてのことで日々悪戦苦闘ですが、オンラインの良さとして、遠方の方にもご参加いただけること、移動時間と会議室費用などが削減できること、セミナー中の受講者とのチャットやアンケート記録がデータで残せることが魅力と感じています。より良いセミナーにできるようさらに研究を重ねていきたいと思っています。

参加費は無料ですので、ご興味のある方は是非ご参加ください。今後のセミナー開催のスケジュールは当社のHPまたはPea t i xにてお知らせいたします。



JO(ジェイ・オー)2020年7月号(第32号)  
 発行者：株式会社協進印刷  
 横浜市神奈川区大口仲町108番地  
 TEL: 045(431)6611  
 FAX: 050(3730)6273  
 URL: <http://www.kyoshin-print.co.jp>

